

学校教育目標

芽ばえ輝く～未来を拓く5つの芽～

元気な子(たくましきの芽)

よく考える子(学びの芽)

思いやりのある子(優しきの芽)

よく働く子(努力の芽)

きまりを守る子(信頼の芽)

朝の教室から、元気いっぱいの歌声が聞こえてきます。子どもたちの明るい声が校舎中に広がっていくと学校全体が目を覚ますようです。みんなで声を合わせて歌うと、自然と笑顔がこぼれ、気持ちまで前向きになってしまいます。歌には、人の心をつなぐ不思議な力があります。

最初は恥ずかしそうに小さな声だった子も、友達の声に引かれ、少しずつ声が大きくなっています。勇気を出して歌ううちに自信が芽生え、その表情の変化がとても頼もしく感じられます。やがて、みんなの声が一つになって響いた瞬間の喜びは、心の成長を実感させてくれる大切な時間です。歌うということは、ただ音を出すことではなく、心を合わせることです。これからも、学校中に笑顔と歌声があふれる毎日を大切にしたいと思います。



ハッピートーク朝礼 12/12

5・6年生を対象に、ハッピートーク朝礼を行いました。講師は札幌市在住のハッピートークトレーナーで、発声練習や早口言葉、ハッピートークレッスンを取り組みました。良い言葉を選んで使うこと、相手にしっかり伝えることを意識し、はきはきと話す練習をしました。口を大きく開き、表情豊かに、体の動きもつけて話すことで、笑顔が伝染することを実感しました。最後には、「だれを、どのように笑顔にするか」をテーマに話し合い、言葉の力について考える時間となりました。



さくら学級校外学習 12/4

さくら学級では、自立活動の一環として、みんなで校外学習に出かけました。近くのローソンで、お買い物体験に挑戦。自分で欲しいものを選び、店員さんにお金を渡して支払いをするなど、日常生活で必要となる大切な学習を実際の場面で行いました。お買い物のあとは、さくら学級で振り返りタイム。今回の校外学習を通して、子どもたちは社会の中でのマナーや安全な行動、そして仲間と協力する心を学ぶことができました。さくら学級の子どもたちのがんばりと成長が輝いた、素敵な一日になりました。



縄跳びを教わったよ 12/12

3年生が1年生に縄跳びを教えてくれました。跳ぶタイミングや縄の回し方などを、実際にやって見せながら分かりやすく伝える3年生。うまくできたときは「すごいね」「今跳び方いいよ」と声をかけ、1年生のやる気を引き出していました。1年生も安心した表情で何度も挑戦し、少しずつ上達する姿が見られました。教える側・教えられる側の双方にとって、運動の楽しさと人と関わる温かさを感じられる、心あたためる交流の時間となりました。

